

スリランカ内戦と平和で AMD Aが医療支援へ

きょう代表、現地に向かう

AMD Aは三日、内戦から和平への道を歩み始めたスリランカで、医療支援を行うことを明らかにした。四日に菅波茂代表らが現地に向かい、巡回診療に向けての現地調査を行う。

AMD Aによると、ス

リランカ政府と少数派タミル人の武装組織「タミル・イーラム解放の虎(LTTE)」が約二十年間にわたって続けていた内戦に和平のメドがつい

たため、日本政府がスリランカへの支援を検討。対スリランカ支援日本政府代表の明石康氏が、菅波代表に協力を依頼、AMD Aが中立の立場で双方への医療支援を行う「医療和平プロジェクト」の実施が決まった。

菅波代表は、現地に一週間ほど滞在。同行する濱田祐子調整員と石沢睦夫調整員は、その後も現地に滞在して、現地調査を続ける。三月にかけて、計十人ほどの医師や看護師らを派遣。スリランカ北部で今月から巡回診療を行うほか、五月以降には、東部や南部でも同様の診療を行うことになっている。

菅波代表は「岡山発の国際貢献ということでも力が入る。絶対に成功させたい。活動は二年ぐらい続けよう」と話した。